

全体的な進捗状況及びそれに対する評価

当金庫は平成 18 年 1 月 9 日をもちまして清算し、翌 1 月 10 日には多摩中央信用金庫、太平信用金庫と合併し、新生「多摩信用金庫」として新たな第一歩を踏み出すこととなりました。

そこで、これまで取り組んできた地域密着型金融推進計画の総括を行い、新金庫「多摩信用金庫」に引き継いでまいります。

この地域密着型金融推進計画につきましては、「新アクションプログラム推進プロジェクトチーム」が役員への啓蒙、推進や進捗状況を管理してきました。毎月各部より「地域密着型金融推進計画進捗状況表」の提出を求めその進捗状況を管理してきました。

17 年度（4 月から 18 年 1 月 9 日迄）の進捗状況については、ほぼ計画通り進展し、計画との乖離がある項目はございません。

以下は、計画に沿って重点的に取り組んだ各項目の進捗状況・評価を要約したものです。

（1）事業再生・中小企業金融の円滑化

① 創業、新事業支援機能の強化

技術の評価や優良案件の発掘等に関するネットワーク「サイバーシルクロード八王子」等を活用した創業支援融資「フレッシュ」（実行 2 件）を推進しました。

② 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

法人総合サービス「BOB」を積極的に推進しました。また、「M&A セミナー」（参加 120 名）、「輸入品&多摩の物産 EXPO'05」（入場者 3 千人）、「地場工務店セミナー」（参加 21 社）、「たま産学連携 in 農工大」（出展取引先 19 社）等のセミナー・イベントも積極的に行ない、ビジネスマッチング等の機会の提供に注力しました。

③ 事業再生に向けた積極的取組み

「経営コンサルタント相談会」（36 回実施）、うち「直接経営相談」（10 回実施）を開催し再生支援に重点においた顧客指導を強化しました。これには職員も同席し、スキル向上に努めました。

経営改善計画書策定の促進（未策定先 24 先のうち 12 先が新たに策定）やキャッシュフローモニタリングによる経営改善指導（70 先で実施）を行ないました。また、東京チャレンジファントムへの再生・債権譲渡相談（2 社）等も実施しました。

④ 担保や保証に頼らない融資の推進

信用格付制度への移行を目指した財務登録「キャスター」への登録を完了しました。

⑤ 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

「苦情等管理規程」を改正し、各部店で毎月「苦情・トラブル勉強会」の実施や臨店指導を行い対応の充実を図りました。

⑥ 人材の育成

3 金庫合同の「目利き研修会」（40 名参加）を実施し「目利き能力」の向上を図りました。

(2) 経営力の強化

① リスク管理態勢の充実

「新BIS規制の適用と金融機関の統合リスク管理高度化態勢」の勉強会等に参加し、精緻化への準備を進めました。

② 収益管理態勢の整備と収益力の向上

「信用格付研修会」(25名参加)や「統合リスク研修会」等に参加し、内部格付制度導入に向けた準備を進めました。

③ ガバナンスの強化

総代の概要等についてディスクロージャー誌に開示しました。

④ 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化

新金庫の規程やコンプライアンス・マニュアルによる研修に切替え、周知徹底を図りました。

⑤ ITの戦略的活用

光回線工事を行ない、渉外支援システムをPDA端末に切り替えました。

⑥ 協同機関中央機関の機能強化

信金中金や全信協が実施する各種統合リスク管理研修会に参加しました。

(3) 地域の利用者の利便性の向上

① 地域貢献に関する情報開示

ディスクロージャー誌に地域貢献実績を開示しました。

② 利用者満足度を重視した経営

「お客様アンケート」を実施しました。

③ 地域再生推進のための各種施策との連携

「八王子みどり市民債」の取扱いや市主催の「あきんど講座」にオブザーバーとして参加するなど、接点の拡大に努めました。

(4) 進捗状況の公表

「多摩信用金庫」のホームページに公表いたします。

以 上

地域密着型金融推進計画の進捗状況表(総括)

	担当部 (関連部署)	具体的な取組み	スケジュール		実績(結果)	総括(分析・評価・課題)
			17年度	18年度	17年4月～18年1月9日	17年4月～18年1月9日
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1). 創業・新事業支援機能等の強化						
①融資審査能力(「目利き」能力)の向上	融資部 (営業推進部・人事部)	<ul style="list-style-type: none"> 外部目利き研修に参加する。 金庫内目利き研修を実施する。 国民生活金融公庫等が主催する研修に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「三金庫合同目利き研修会」に参加する。 目利き研修会を開催する。 国民生活金融公庫等が主催する研修に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の状態を把握しレベルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月～6月、三金庫合同目利き研修会(6回開催、参加40名)に参加した。 11月、国民生活金融公庫の研修会に融資課長他25名参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各階層(融資部員・上位役席者・融資課長)に応じた創業支援等の研修を実施した。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
②起業・事業展開に資する情報の提供	営業推進部(融資部)	<ul style="list-style-type: none"> 産学官の更なる連携強化を図る。 (財)学術・文化・産業ネットワーク多摩での活動を強化する。 TAMA産業活性化協会その他外部諸団体の相談機能等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> (財)学術・文化・産業ネットワーク多摩での活動を強化する。 TAMA産業活性化協会その他外部諸団体の相談機能等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> (財)学術・文化・産業ネットワーク多摩での活動を強化する。 TAMA産業活性化協会その他外部諸団体の相談機能等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月、多摩中小企業振興センターへ知的財産権に関する相談を行った(第二創業、相談継続中)。 9月、たま産学連携in農工大(入場者900名)を共同開催した。 外部団体(サイバーシルクロード八王子)の相談機能等を活用し「本気の創業塾」の情報提供や「第二創業セミナー」を後援した。 12月、「学生が作る中小企業ホームページグランプリ」の受賞者を表彰した。当金庫取引先ホームページが準グランプリを受賞した。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の通り実施した。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
③創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援	融資部 (営業推進部)	<ul style="list-style-type: none"> 業務提携機関と協力し創業支援融資を推進する。 「サイバーシルクロード八王子」と連携により融資推進を図る。 「創業支援研修会」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「サイバーシルクロード八王子」提携しての「はちしんフレッシュ」を推進する。 国民生活金融公庫・中小企業金融公庫・商工組合中央金庫と情報交換実施し、成長段階に応じた融資推進を図る。 「創業支援研修会」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の状態把握しレベルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「フレッシュ」の実績は、相談4件、実行2件9百万円。うち「サイバーシルクロード八王子」相談3件、うち1件4百万円を「フレッシュ」で実行した。 8月、国民生活金融公庫の支店長・課長と情報交換(10月開催予定の公庫研修会の打ち合わせ)を実施した(4回)。 11月、創業支援研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 国民生活金融公庫、商工中金と情報交換を行うも融資実行まで至らなかった。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化						
① i 中小企業に対するコンサルティング機能及び情報提供機能の一層の強化	営業推進部 (融資部)	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティング機能、情報提供機能を一層強化する。 外部専門コンサルタント2名及び外部公的機関による経営相談を実施する。 法人総合サービス「BOB」等による経営情報やその他情報提供を積極的に行う。 地域商工団体等外部機関を活用する。 M&A、株式公開支援業務等中小企業のニーズに対応するための取組みを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門コンサルタント及び外部公的機関による経営相談を実施する。 法人総合サービス「BOB」等による経営情報やその他情報提供を積極的に行う。 地域商工団体等外部機関を活用する。 M&A、株式公開支援業務等中小企業のニーズに対応するための取組みを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門コンサルタント及び外部公的機関による経営相談を実施する。 法人総合サービス「BOB」等による経営情報やその他情報提供を積極的に行う。 地域商工団体等外部機関を活用する。 M&A、株式公開支援業務等中小企業のニーズに対応するための取組みを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月～12月、経営コンサルタント相談会を開催した(36回開催、うち実調相談10回)。 4月、顧客向けM&Aセミナー(参加者120名)を開催した。 4月～、相談業務専任者長期研修(たましんへ2ヶ月間)を実施した。 5月、ビジネスお助け隊を活用しISO取得相談について支援した。 6月～、相談業務専任者の顧客戸別訪問を開始した。 7月、輸出品&多摩の物産EXPO'05(入場者3,000名)を開催した。 7月、地場工務店向けセミナー(参加者21社23名)を開催した。 8月、東京都しごとセンターの活用(人材派遣)。 9月、「たま産学連携in農工大」を開催し、ビジネスマッチングの場を提供した。(取引先19社出展) 12月、「多摩ブルーグリーン賞」の受賞企業を表彰した。当金庫取引先がグリーン賞最優秀賞(1社)と優秀賞(1社)を受賞した。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の通り実施した。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
① ii 中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化	融資部 (営業推進部)	<ul style="list-style-type: none"> 経営コンサルタントの活用を図る。 経営改善支援課と営業店のスキルの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営コンサルタント相談会を実調相談主体に実施する。 経営コンサルタント相談会に営業店職員を同席させて、スキルの向上を図る。 経営改善支援課による経営コンサルタント相談事例と経営改善事例の勉強会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の状態を把握して、一層の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 4～12月、経営コンサルタント相談会を36回(うち実調相談10回)実施した。うち、35回は営業店が同席しスキルの向上を図った。 4月、経営コンサルタント相談事例と経営改善事例の勉強会を実施した。 7～8月、改善事例の勉強会(臨店形式)を実施した。 12月、改善事例を営業店に通知し改善支援に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営コンサルタント相談の活用と改善支援の勉強会を実施し、経営改善支援課と営業店の能力向上(改善指導と改善計画の策定支援)が図れた。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
② 要注意先債権等の健全債権化に向けた各種取組みの強化	融資部	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善支援課と営業店は、管理先に毎月訪問してモニタリング・改善指導を行う。 経営改善支援課にて経営改善計画の策定支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善支援課管理先を抽出する。 直接管理先に対し、CF(キャッシュフロー)モニタリングによる経営改善指導を実施する。 営業店管理先に対し、CFモニタリングを実施し指導を行う。 経営改善計画未策定先への策定依頼・策定フォローを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善支援課管理先を、現多摩中央信用金庫取引先を含めて見直しを行う。 直接管理先に対し、CF(キャッシュフロー)モニタリングによる経営改善指導を実施する。 営業店管理先に対し、CFモニタリングを実施し指導を行う。 経営改善計画未策定先への策定依頼と策定フォローを行い、策定完了させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善支援課管理先130先を抽出した。 直接管理先60先に、経営改善支援課が直接CFモニタリング訪問による経営改善指導を実施した。 営業店管理先70先に、営業店がCFモニタリング訪問による経営改善指導を実施した。 経営改善計画未策定先への策定依頼・策定フォローを実施し、未策定先24先中14先が策定を完了したが、破綻先2先以外の8先は協力得られず未策定となった。 経営改善支援課管理先として抽出した130先の内、9先がランクアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画については、取引先の協力が得られず8先が未策定となった。 ランクアップ目標30先に対して、9先がランクアップした。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
③ 健全債権化等の強化に関する実績の公表等	融資部	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌に実績を公表する。 具体的取組み事例についての開示を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組み事例についての開示を検討する。 ディスクロージャー誌で実績を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組み事例についての開示を検討する。 ホームページで実績を公表する。 ディスクロージャー誌で実績を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的事例の公表について検討したものの、具体的事例が乏しく開示を見送った。 ディスクロージャー誌とホームページに、債務者区分の変化実績を公表した。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的改善事例が乏しく、具体例の公表を見送った。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。

地域密着型金融推進計画の進捗状況表(総括)

	担当部 (関連部署)	具体的な取組み	スケジュール		実績(結果)	総括(分析・評価・課題)
			17年度	18年度	17年4月～18年1月9日	17年4月～18年1月9日
(3) 事業再生に向けた積極的取組み						
①事業再生の早期着手に向けた取組みの促進	融資部(人事部)	<ul style="list-style-type: none"> ・プリパッケージ型事業再生を活用する。 ・DDS・M&Aを活用する。 ・外部機関を活用する。 ・コンサルタントを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生ファンドと秘密保持契約を結び、管理先の再生手法・債権譲渡等を検討する。 ・プリパッケージ型事業再生・DDS・M&A・DIPファイナンス等のノウハウの蓄積を図る為、セミナー・外部勉強会へ参加する。 ・「中小企業再生支援協議会」「信金中金」への再生相談先を検討して相談する。 ・経営コンサルタント相談会を実施する。 ・外部コンサルタントとの直接契約紹介先を検討して紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生ファンドとの再生手法・債権譲渡等を検討する。 ・プリパッケージ型事業再生・DDS・M&A・DIPファイナンス等の該当先を検討する。 ・「中小企業再生支援協議会」「信金中金」への再生相談を実施する。 ・経営コンサルタント相談会を実調主体に実施する。 ・外部コンサルタント(直接契約)を紹介する。 ・ターンアラウンドマネージャーの紹介先を検討して、状況によっては紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4～12月、経営コンサルタント相談会を36回実施した。 ・4月、M&Aセミナー(1名)に参加した。 ・5月、企業再生支援セミナー(1名)とサイバーシルクロード八王子の再生支援説明会(1名)に参加した。 ・6月、事業再生セミナー2日間(1名)、東京チャレンジファンド説明会(6名)、信金中金再生手法勉強会(6名)に参加した。 ・7月、「東京チャレンジファンド」の運営会社2社と、秘密保持契約を結び、2社の再生・債権譲渡相談を実施した。 ・8月、中小企業再生支援協議会と信金中金へ再生相談を行い、1社は中小企業再生支援協議会のアドバイスで民事再生開始、スポンサーが決定した。 ・9月、東信協中小企業再生セミナー(1名)、M&Aセミナー(11名)に参加した。 ・9月、外部コンサルタントとの直接契約紹介先を検討したが、紹介予定先の承諾得られず決定できず。 ・11月、再生支援サービスに1社紹介した。12月にサービスが債権購入希望額提示があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1社が中小企業再生支援協議会・1社が再生支援サービスを活用したが、他の先は検討・相談したが具体化せず、外部機関を活用した事案が少なかった。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
②再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進	融資部(人事部)	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌に再生支援実績の開示を行う。 ・事業再生ノウハウ共有化のため、定期的な勉強会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌に再生支援実績の開示方法を検討し開示する。 ・営業店職員に対し、経営支援マニュアルによる改善計画策定・チェック・指導方法の勉強会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌に再生支援実績の開示方法を検討し開示する。 ・営業店職員に対し、経営支援マニュアルによる改善計画策定・チェック・指導方法の勉強会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、経営改善支援課臨店による改善計画策定・チェック・指導方法の勉強会を実施した。 ・7月、ディスクロージャー誌とホームページに、再生支援実績(債務者区分実績)を公表した。 ・10～11月、経営改善支援課による改善計画策定・チェックの臨店指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援実績(債務者区分実績)を公表した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等						
① i 不動産担保・保証に過度に依存しない融資の推進するための手法の拡充	融資部	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイバーシルクロード八王子」を活用して融資推進を図る。 ・実質財務分析システム「キャスター」の導入によりキャッシュフロー重視の融資審査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイバーシルクロード八王子」活用しての融資を推進する。 ・「キャスター」へ財務登録及び信用格付実施によるキャッシュフロー重視の融資審査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度同様に引き続き実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイバーシルクロード八王子」相談案件4件、うち「フレッシュ」で1件4百万円を実行した。 ・12月、キャスター登録は完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイバーシルクロード八王子」の相談案件は少なかった。 ・実質財務分析システムの登録は完了した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
① ii 包括保証契約の制度改正を踏まえた適切な見直しや第三者保証利用の制限	融資部(事務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の契約書等を改正する。 ・第三者保証利用の制限について融資課長会議等で周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩中央信用金庫と協議して契約書類等の改正等を検討する。 ・融資課長会議等で過度な第三者保証利用防止を周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度同様に引き続き実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新金庫で多摩中央信金の書式を採用することが決定したため、契約書の改正等は見送った。 ・9月、融資課長会議にて過度の第三者保証利用の防止を徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過度の第三者保証利用の防止については、融資課長会議で注意を喚起した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
② 中小企業の資金調達手法の多様化等の取組み	融資部(営業推進部)	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛金債権担保融資の勉強会を実施する。 ・シンジケートローンの取り扱いを前向きに検討する。 ・その他の手法についても取り扱いを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛金債権担保融資の勉強会を実施する。 ・事例が発生した際、シンジケートローンの取り扱いを前向きに検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権担保融資の推進を図る。 ・事例が発生した際シンジケートローンの取り扱いを前向きに検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンジケートローンの相談が、他行よりあったが地区外で取扱いできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み事例は少なかった。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化						
①顧客説明マニュアル等の内部規程の整備、営業店における実効性の確保	融資部(監査部・事務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店における顧客説明状況のチェックする。(監査部) ・各種会議と臨店時の指導を徹底する。(融資部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期監査と融資部ヒヤリングにおいて、顧客説明状況をチェックする。 ・融資課長会議等と臨店にて不備事項の改善指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度同様に引き続き実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期監査において顧客説明状況のチェックを実施した。 ・9月、融資課長会議にて顧客説明を徹底することを指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期監査、融資部ヒヤリングにおいて、顧客説明状況をチェックし不備事項について改善指導した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
③苦情等事例の分析・還元	法務部(融資部・監査部)	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情・トラブル事例の勉強会を毎月実施する。 ・毎月の発生事案を集計・分析を行い、改善策・未然防止策を策定する。 ・臨店指導(随時)を実施する。 ・インターネットでの苦情・要望等の受付をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情・トラブル事例の勉強会を毎月実施する。 ・毎月の発生事案を集計・分析を行い、改善策・未然防止策を策定する。 ・臨店指導(随時)を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情・トラブル事例の勉強会を毎月実施する。 ・毎月の発生事案を集計・分析を行い、改善策・未然防止策を策定する。 ・臨店指導(随時)を実施する。 ・インターネットでの苦情・要望等の受付をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～11月、各本店で苦情・トラブル事例勉強会を実施した。 ・毎月、月報を集計し営業店に注意喚起し、問題事案毎に改善策・未然防止策を策定し、全店を指導した。 ・5月～11月、臨店(19店舗)を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(6) 人材の育成						
①事業再生、経営支援の能力、企業の将来性を見分ける「目利き」能力の向上	人事部(融資部・営業推進部)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生・経営支援の能力、企業の将来性を見分ける「目利き」能力の向上を図る。 ・業種別の目利き力養成講座へ派遣する。 ・事業再生・経営支援養成講座等の研修会に派遣する。 ・研修会参加者、担当部署の職員による勉強会を開催する。 ・ファイナンシャルプランナー2級の資格取得を推奨する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三金庫合同「業種別目利き力養成講座」へ職員を派遣する。(4～6月) ・「地域密着型事業再生講座」へ職員を派遣する。(6月15、16日) ・事業再生・経営支援実務研修等へ職員を派遣する。 ・研修会参加者による庫内勉強会を開催する。 ・ファイナンシャルプランナー2級の資格取得を推奨する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「業種別目利き力養成講座」へ職員を派遣する。 ・事業再生・経営支援実務研修等へ職員を派遣する。 ・研修会参加者による庫内勉強会を開催する。 ・ファイナンシャルプランナー2級の資格取得を推奨する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6月、三金庫合同業種別目利き力養成講座(6回、40名)へ参加した。 ・5月、研修会参加者による庫内勉強会(6名)を開催した。 ・6月、地域密着型事業再生講座(1名)へ派遣した。 ・9月、企業再生講座(1名)へ派遣した。 ・ファイナンシャルプランナー2級の資格取得を昇格の資格要件とし新たに9名が取得した。 ・11月、地域支援セミナーへ(1名)派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援、事業再生における具体的な目利き力の向上と専門性の高い知識の習得に努めた。 ・事業再生・経営支援に繋がる成果は少なかった。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。

地域密着型金融推進計画の進捗状況表(総括)

	担当部 (関連部署)	具体的な取組み	スケジュール		実績(結果)	総括(分析・評価・課題)
			17年度	18年度	17年4月～18年1月9日	17年4月～18年1月9日
2. 経営力の強化						
(1)リスク管理態勢の充実						
①自己資本比率の算出方法の精緻化、リスク管理の高度化、情報開示の拡充に係る適切な説明態勢整備	監査部(経営企画部・融資部・資金証券部)	・統合的なリスク管理の研究を行い、各リスクの計量化を図り、統合的なリスク管理態勢を構築する。	・統合的なリスク管理について研究する。(上期・下期) ・各リスク計量化手法を検討する。(下期)	・統合的なリスク管理態勢を構築する。(上期) ・統合的なリスク管理に基づく各リスク計量化を実施する。(下期)	・9月、ニューバンキングセミナー「新BIS規制の適用と金融機関の統合リスク管理高度化態勢」(1名)に参加した。 ・9月、信金中金講師による「統合リスク管理」(信用リスクVaR)の勉強会(2名)に参加した。 ・10月、東信協多摩支部開催「統合リスク管理」に関する勉強会(役員・幹部職員15名)に参加した。 ・11月、金庫経営者を対象とした日本銀行による「統合リスク管理」の説明会に理事長以下役員(6名)が参加した。 ・11月、日本銀行講師による「信用リスク計測モデルの仕組み」、「信用リスク計量化の基礎」についての勉強会(3名)に参加した。	・統合リスク管理態勢の構築に向けての準備として、統合リスク管理の理解、各リスクの計量化手法の研究・検討を行った。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(2)収益管理態勢の整備と収益力の向上						
①債務者区分と整合的な内部格付制度の構築	融資部	・実質財務分析「キャスター」登録を行い内部格付制度を確立する。 ・内部格付制度と債務者区分との整合性が図れるよう改善する。	・「キャスター」研修会を実施する。 ・「キャスター」登録による信用格付を実施する。 ・自己査定を行い信用格付との整合性のチェックする。	・17年度に引き続き実施する。 ・債務者区分と信用格付の整合性を図る。	・5月、キャスターの研修会(38名)に参加した。 ・6月、ブロック別キャスター実践研修を実施した。 ・9月、信用格付研修会(25名)を開催した。 ・12月、実質財務による財務登録システム(キャスター)登録は完了した。	・キャスター登録は完了した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
②必要なリスクとそれに見合った金利設定を行っていくための体制整備	融資部	・実質財務分析「キャスター」登録を行い内部格付制度を導入した上で、信用格付に連動した金利設定を検討する。	・「キャスター」登録による信用格付を実施する。 ・デフォルト確率の採用や定性評価の基準化を検討する。 ・信用格付に基づく金利設定を検討する。	・17年度に引き続き実施する。	・9月、信用格付研修会(25名)を開催した。 ・9月、信金中金の統合リスク(信用リスク含む)研修会(1名)に参加した。 ・11月、ブロック別信用格付実地研修会(50名)を実施した。	・信金中金の統合リスク(信用リスク含む)研修を受講した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(3)ガバナンスの強化						
①半期開示の内容充実	経営企画部	・事業計画に基づいた半期実績とその後の対応について公表に努める。	・開示内容を検討し、半期開示を実施する。	・開示内容を検討し、半期開示を実施する。	・11月、ミニ・ディスク誌及びホームページに公表した。	・金庫ホームページ上に半期開示(初)を行ったが、開示内容については、前期同様の項目に止まった。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
②総代会の機能強化	総務部	・ディスクロージャー誌での開示継続、会員用業務報告書での開示を追加する。 ・会員の意見を反映させる仕組み強化としてディスクロージャー誌に渉外等、支店長、役員の会員訪問により得られた意見、その成果を掲載する。	・会員用業務報告書に総代名簿、総代の任期、定数を掲載する。 ・ディスクロージャー誌における総代の概要開示を継続する。	・会員用業務報告書に総代名簿、総代の任期、定数を掲載する。 ・ディスクロージャー誌における総代の概要開示を継続する。	・6月、会員用業務報告書に総代名簿、総代の任期、定数を掲載した。 ・7月、ディスクロージャー誌に総代の概要を継続開示した。	・スケジュール通り実施した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(4)法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化						
①営業店に対する法令等遵守状況の点検強化	法務部	・毎月、「コンプライアンス・マニュアル」の読み合わせを指示し、報告を求める。 ・「コンプライアンス・オフィサー試験」の受験を奨励する。 ・「職場離脱」を徹底する。 ・「ホットライン制度」の周知徹底等による不正防止のための牽制機能を強化する。	・左記の4項目の取り組みすべてについて通期で実施する。	・17年度の実施状況により見直しを行い定着を図る。	・5月～8月、職場内研修で「コンプライアンス・マニュアル」の読み合わせを行った。 ・6月、「コンプライアンス・オフィサー試験」に11名が合格した。 ・5月～11月、臨店(19店舗:全店)を実施し、連続休暇の取得等を指導した。ほとんどの職員が9月までに「職場離脱」を実施した。 ・9月～、合併後の新金庫で採用する「コンプライアンス・マニュアル」の読み合わせを行った。 ・臨時時に一般職員に対し「ホットライン制度」の理解度をチェックし、説明や指導を行った。	・計画どおり実施した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
②適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	事務部(法務部)	・個人情報管理態勢の有効性・実効性の検証及び個人データの取組状況の点検を実施する。	・「個人情報管理態勢・個人データ」の自主・監査点検を実施する。(5～6月) ・上記の分析を行い、不備事項・不徹底事項等についての改善を指示する。 ・個人情報の安全管理についてのフォロー研修を実施する。 ・上期に実施した、自主・監査点検の不備事項・不徹底事項の改善状況の再点検を実施し、新たな不備事項の発生防止を図る。	・17年度を把握して、自主点検・監査点検を実施し、個人データの取扱において漏洩等に繋がる不備事項がなかったかを検証する。 ・上期実施の点検結果に基づく個人データの安全管理の強化を図る。	・5月～6月、「個人情報管理態勢・個人データ」の自主・監査点検を実施した。不備・不徹底事項については改善済み。 ・7月、各本店OJT統括者に対し、フォロー研修を実施した。 ・7月末、不備事項・不徹底事項の改善状況の再点検を実施し、外部委託契約は完了した。 ・9月、運転免許証の条件等のセンシティブ情報の塗りつぶしを行った。	・計画どおり、自主点検・監査点検を実施した。 ・情報保護状況の不適切・不徹底項目については、習熟度・遵守に対する姿勢の不足と考える。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(5)ITの戦略的活用						
①ビジネスモデル等の状況に応じたITの戦略的活用に向けた取組み	事務部	・IB・等ダイレクトチャンネル(非対面取引)の充実を図る。 ・顧客情報の収集・分析・還元ができる情報システムの環境整備を図る。	・IB・等ダイレクトチャンネルによる情報収集方法とその情報の活用方法を検討する。 ・渉外支援システムの機能活用の促進と機能追加を検討する。	・各業務と取得した知識・技術との融合を図り、地域の要望を収集・整理し、顧客ニーズに対応できる組織・システムを構築する。	・非対面の情報活用を検討したが、合併後のシステムによる充実を図ることとした。 ・6月、現行の渉外支援システムの研修を行った。 ・9月、渉外支援システムについては、PDA端末を利用することが決定し、新システム習熟の為の研修を開始した。 ・11月、光回線設置工事は完了した。	・渉外支援システムのPDA端末の利用が決定した。 ・今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。

地域密着型金融推進計画の進捗状況表(総括)

	担当部 (関連部署)	具体的な取組み	スケジュール		実績(結果)	総括(分析・評価・課題)
			17年度	18年度	17年4月～18年1月9日	17年4月～18年1月9日
(6) 協同組織中央機関の機能強化						
①市場リスク管理態勢等の強化	監査部(資金証券部)	<ul style="list-style-type: none"> 統合的なリスク管理に向けて市場リスク量の計測手法をVaR法に変更する。 信金中金の有価証券ポートフォリオ分析を実施し、リスク管理及び収益確保に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> VaR法を導入するに当たっての検討及び準備をする。(上期) 信金中金の有価証券ポートフォリオ分析を実施する。 参考値としてVaR法による計測を実施する。(下期) 	<ul style="list-style-type: none"> 市場リスク量計測手法のVaR法へ切替える。 ポートフォリオ分析を踏まえた運用限度枠を検討する。 VaR法による市場リスク量を計測する。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月、信金中金に有価証券ポートフォリオ分析を依頼した。 9月、ニューバンキングセミナー「新BIS規制の適用と金融機関の統合リスク管理高度化態勢」(1名)に参加した。 9月、信金中金講師による「統合リスク管理」(信用リスクVaR法の勉強会(2名)に参加した。 10月、東信協多摩支部開催「統合リスク管理」に関する勉強会(役員・幹部職員15名)に参加した。 11月、信金中金が実施した当金庫の有価証券ポートフォリオ分析結果を参考に検討を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新BIS規制移行に伴う研修等に積極的に参加し、知識の習得に努めた。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
3. 地域の利用者の利便性向上						
(1) 地域貢献等に関する情報開示						
①積極的な地域貢献に関する情報開示と充実した分かりやすい情報開示の推進	経営企画部 (営業推進部)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等を反映した地域貢献実績を開示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等を反映した地域貢献実績の開示を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等を反映した地域貢献実績の開示を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月、ディスクロ誌に地域貢献実績を表現した。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロ誌の開示内容は、前期同様の項目に止まった。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立						
①利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	営業推進部	<ul style="list-style-type: none"> お客様アンケートの実施によりお客様の意見・要望を確認し、満足度アップへ向けた改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 下期にお客様アンケートを実施する。 お客様アンケート結果の分析により、次期事業計画等へ反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 意向・要望等を事業計画に組み入れ、改善を図る。 下期、進捗の確認とお客様アンケートの実施により顧客満足度を確認し、改善が図られたかを検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10月24日～11月4日、全店で顧客満足度アンケートを実施した。 12月、アンケート結果を分析し今後の取組みを検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートについては5,200件の回答を予定したが1,532件と目標の29.5%に止まった。 当庫の対応については概ね満足との回答を得たが、挨拶・待ち時間・相談業務の対応については改善が必要との指摘があった。 お客様への宣誓文「①いらっしゃいませの発声②1分短縮運動③レベルアップを図ります」を掲げ、改善を図った。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等						
地域再生推進のための各種施策との連携等	営業推進部	<ul style="list-style-type: none"> 自治体等との情報交換を行う。 担当部署による定例訪問を実施する。 自治体職員との定期交流会を実施する。 商店街活性化事例等の情報提供を行う。 関連セミナーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体等との情報交換を行う。 担当部署による定例訪問を実施する。 自治体職員との定期交流会を実施する。 商店街活性化事例等の情報提供を行う。 関連セミナーを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体等との情報交換を行なう。 担当部署による定例訪問を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体等との情報交換については、担当部署による定例訪問を実施した。 4・6・9月、八王子市職員との定期交流会を実施し、商店街活性化事例等の情報を提供した。 6月～八王子市主催の個店経営革新のための「あきんど講座」にオブザーバー(4名)として参加し「あきなりリーダー」の認定を受けた。 7月、地場工務店向けセミナーを開催した。 8月、商工会議所商業部会商店街活性化セミナーに講師(信金中金)を紹介した。 9月、八王子みどり市民債の取扱いを行った。 10月、八王子市職員との定期交流会を実施し、商店街活性化事例等の情報を提供した。 11月、八王子商店会連合会開催の「商店活性化セミナー」に講師(信金中金)を紹介した。 12月、八王子市内購買動向意識調査アンケートを実施した(市内在籍大学生525名)。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね当初計画の通り実施した。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。
4. 進捗状況の公表						
進捗状況の公表	経営企画部	<ul style="list-style-type: none"> 実績については、計数化表記に努める。 金庫ホームページに公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実績については、計数化表記に努める。 金庫ホームページに公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実績については、計数化表記に努める。 金庫ホームページに公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月、計画を金庫ホームページに公表した。 上期進捗状況については、12月15日に開示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 上期についてはホームページに開示した。 今後は、多摩信用金庫の推進計画として引き続き取り組んでいく。